

「県ドクターヘリの離着陸場は、増設に向けて取り組む」 私の一般質問に対する答弁で村山市長が約束

6月議会の一般質問で私はT P P問題と新潟県ドクターヘリの運航についてとりあげ、村山市長に見解を求めました。

まず、T P P問題。安倍首相の裏切りによって重大な局面を迎えています。コメ、乳製品など重要農産物の関税撤廃の『聖域』確保はできる見通しと認識しているか」との質問に、市長は、「正確な情報が少ない中で、聖域確保が可能かどうかを見通すことは非常に困難」とのべました。農業団体などが言っているように、「聖域確保の具体的な証拠がない中で参加表明だった」との認識を示してほしかったのですが、政府の見解を全面的に容認する答弁ではなかったため、まあまああつたと言え

ます。ただ、アメリカ産牛肉の輸入規制緩和やかんぽ生命保険の新規商品販売中止に関して、私が「アメリカの要求の一方的な丸のみではない

か」と質問したのに対して、「(アメリカ産牛肉については)国では、これらはいくまでも人への健康評価に基づいた措置であるとしている」(かんぽ生命については)麻生金融担当大臣が、あくまでも国内事情であつて、アメリカとのT P P交渉とは関係ないとしている」とのべ、アメリカの圧力を否定し、アメリカとの交渉とは無関係なことを答弁したのは納得できませんでした。

もうひとつの新潟県ドクターヘリの運航についての質問では、村山市長から積極的な答弁をいただいたきました。

新潟県のドクターヘリ事業は、昨年10月末にスタートしました。私は、「救急車搬送に比べ、治療開始時間は26分短縮できる、死亡患者は27%減少する、重症後遺症患者が47%減る」というデータがある。この事業開始は、新潟県の救急医療体制を強化する上で画期的な取り組みだ」と評価し、運航開始後、

上越地域での初出勤となった吉川区上川谷での交通事故をめぐる一連の対応を紹介しました。

そのうえで、「市民にたいして市のH Pなどでドクターヘリ事業の概要やランデブーポイント(救急車とヘリが合流する場所。離着陸場)がどこにあるかをお知らせするべきだ」「市内のランデブーポイントは追加の必要性がある。現在の登録個所について、改めてチェックし、消防組合などと協議していくべきではないか」「新潟県のヘリ



【ミヤマヨメナ】キク科。別名ノシュンギクともいいます。漢字で「深山嫁菜」と書きます。少し、薄暗い杉林のなかで咲いていました。漢字と同じく、嫁さんのイメージがあります。写真は8日、吉川で撮影。

が出動している時のことなどを考えると、2機を所有している長野県との協力協定が必要ではないか。県にぜひ働きかけていただきたい」と訴えました。

これにたいして市長は、「ドクターヘリのランデブーポイントは増設に向けて上越地域消防事務組合と連携して取り組む」「ランデブーポイントがどこにあるかは市のホームページから見られるようにする」「ドクターヘリの相互応援協定山形、福島両県だけでなく、長野県とも結ぶよう県に働きかける」などと、答弁しました。今回の質問により、よりよい方向に向かつていくと確信しました。

※写真は2日、吉川区の旧源小学校グラウンドに着陸したドクターヘリです。上越地域消防組合が撮影。

「つながろうフクシマ! さようなら原発 上越集会」のご案内

29日(土) 午後2時から
会場はリージョンプラザ

柏崎刈羽原発の隣接市で行われる初の大規模集会です。集会では福島からの報告、原発差し止め訴訟報告などが行われ、柏崎刈羽原発の再稼働反対などを盛り込んだ集会アピールを決議する予定です。また、市民に訴えるためにデモ行進も行われます。ぜひ、ご近所お誘い合わせの上、ご参加ください。

春よ来い 第二五八回 爆弾おにぎり

埼玉の叔母の一周忌法要の際、今年の「いとこ会」をいつ、どこでやろうかという話が出ました。そこでは決まらず、後日、大島区に集合して相談することになりました。正直言いますと、飲んで語る楽しい時間を増やすために決めなかったのです。

相談会はこの間の土曜日に行われました。会場は大島区板山の「伊作」です。吉川、浦川原、牧、三和、高田などで街頭宣伝を終えた私は、高田から「しんぶん赤旗」日曜版の配達をしながら会場へと急ぎました。

この日、私が急いだのにはわけがありました。「いとこ会」の事務局をしている千葉のエツオちゃん、「パソコンを使い、今秋、予定している『いとこ会』の会場候補地を映像も使ってみんなに説明したいので、プロジェクター（映写機）とスクリーンを持ってきてくれないか」と言っていたのです。

相談会は午後六時にスタート。再会を祝し、ビールで乾杯すると、「酔っぱらわないうちに、早く決めちゃおう」と誰かが言いました。そして、エツオちゃんはすぐに映しはじめました。いやー、びっくりしましたね。スクリーンに映し出された「いとこ会開催予定会場」一覧表には、松之山など八つの温泉地の十一の宿が並んでいて、宿泊料金や飲み放題がいくらかを全部掲載してあったのです。しかも、それぞれの宿のホームページもボタン一つで見られるようになっていました。

各地の宿のホームページに掲載されているお風呂や部屋、交通の便などの説明を聴きながら、「おっ、これでいこう」と決まったのは伊香保温泉のあるホテルです。乾杯後、一〇分経つか経たないうちに決めるというスピード決定でした。

思ったよりも早く決まったので、埼玉のトモコちゃんが出てきた。昨年「いとこ会」の写真データを今度は私のパソコンを使って上映しました。まだ数か月前の写真だというのに、まるで数十年前の思い出を語るかのような賑やかさでした。

「アイジとノリカズは『のうの』の系統だでの、頭の禿げ具合がそうだ」「シュウジさんはうちの父に似てきたわ」

「奈良（のカズエさん）ととうちゃん、恥ずかしげもなく、肩を抱いて写ってる。夫婦があんがなふうになるには歳とらんと駄目だこて。こっばずかしくてそ」

数十枚の写真が映した後、オマケに母の最近の様子を写真で紹介しました。牛舎で水をペットボトルに詰め、一輪車で畑へ運ぶところ。「達者だでの」「まだ、くびき餅のしよに頼まんで、笹採りしてんがかい」「この間、おらんどこのモミジの木がどうなつたと訊いてこらんだがで、死ぬんでないかと心配した」などの声が次々と出て、酒もろくに飲まないで、おしゃべりがはずみました。

会が一応終わったのは午後九時ごろでした。「伊作」に残った埼玉と千葉の四人、私、それにシュウジさんとで、タケノコ汁とおにぎりを食べながら、子どもの頃の思い出話に花が咲きました。

興味深く聞いたのは、板山の伯母がお盆などで作ってくれたおにぎりの話です。トモコちゃんやヨシエちゃん、ユウジ君などによると、伯母がつくったおにぎりは「爆弾おにぎり」だったというのです。普通のおにぎりの約四倍の大きさで、「あれほど大きいのは他に見たことがないわ。それにご飯がうまいのよ」と言っていました。「いとこ」たちが大島に集まるのは、みんなこの地に幼い時から思い出がたくさんあるからです。私も伯母の作った「爆弾おにぎり」を食べてみたくまりました。

一般会計補正予算に反対

6月議会は19日に終わりました。この日は、委員長報告のあと、討論、採決が行われましたが、討論に立ったのは日本共産党の3議員だけでした。委員会でも意見を述べたからいいやではなく、本会議でも反対な

ら反対、賛成なら賛成の討論をしてほしいものです。

今年度の一般会計補正予算についての討論では、平良木議員が登壇し、「この度の補正予算では、(仮称)新クリーンセンターの整備、運営事業者を選定するための入札公告にあたり、債務負担行為を設定している。この事業者の選定は、DBO方式という民間事業者に事業をそっくり任せられる方式が前提だ。行政にとって最も重要な市民サービスであるごみの焼却事業は、あくまでも行政が責任を持って直接運営をすべき」とのべ反対しました。採決の結果、私たち3人だけの反対であったため、賛成多数で可決しました。

年金削減反対は残念ながら不採択に

年金2.5%の削減中止を求める意見書提出に関する請願については上野議員が登壇し、賛成の立場で討論しまし

た。上野議員は、「昨年11月16日に、衆議院解散に先立ち、ほとんど国会で審議されることなく、年金がことし10月から3年間で2.5%も削減される法律が強行された。年金削減によって、深刻な生活苦の中にある高齢者の皆さんの生活をさらに圧迫し悲惨な結果を招くことも危惧される。高齢者の主な収入源である年金の削減は、地域の経済にも大きな影響を及ぼし、自治体の税収入にも直結してくることは明らかだ」とのべました。写真は、この請願の採決です。私たち3人と市民クラブの4人、滝沢一成、永島、石田の3議員が賛成でした。結果は賛成少数で不採択でした。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	6月12日(水)	6月19日(水)
上越南消防署	0.036	0.053
上越北消防署	0.063	0.057
新井消防署	0.050	0.080
頸北消防署	0.050	0.060
頸南消防署	0.050	0.063
東頸消防署	0.047	0.060
高土分遣所	0.046	0.076
名立分遣所	0.043	0.053